



2020年7月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年6月12日

上場会社名 株式会社 ブラス 上場取引所 東 名
 コード番号 2424 URL https://www.brass.ne.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河合 達明
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 河合 智行 TEL 052-446-5338
 四半期報告書提出予定日 2020年6月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年7月期第3四半期の業績 (2019年8月1日～2020年4月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年7月期第3四半期	7,588	3.7	9	△96.5	25	△91.0	△503	ー
2019年7月期第3四半期	7,318	2.7	264	△45.8	281	△44.0	169	△44.0

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年7月期第3四半期	△88.67	ー
2019年7月期第3四半期	29.70	ー

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年7月期第3四半期	12,899	3,001	23.3	531.29
2019年7月期	10,479	3,623	34.6	634.67

(参考) 自己資本 2020年7月期第3四半期 3,001百万円 2019年7月期 3,623百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年7月期	ー	0.00	ー	12.00	12.00
2020年7月期	ー	0.00	ー	ー	ー
2020年7月期(予想)	ー	ー	ー	ー	ー

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

2020年7月期期末配当金につきましては、現時点では未定としております。詳細につきましては、本日公表いたしました「特別損失(減損損失)の計上及び繰延税金資産の取り崩し並びに業績予想、配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2020年7月期の業績予想 (2019年8月1日～2020年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

2020年7月期の業績予想につきましては、現時点では未定としております。詳細につきましては、本日公表いたしました「特別損失(減損損失)の計上及び繰延税金資産の取り崩し並びに業績予想、配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年7月期3Q	5,709,300株	2019年7月期	5,709,300株
② 期末自己株式数	2020年7月期3Q	60,200株	2019年7月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年7月期3Q	5,681,420株	2019年7月期3Q	5,709,300株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料は、TDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報等)	6
(重要な後発事象)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調で推移していましたが、新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行の影響により、急速な悪化が続いております。先行きにつきましては、感染拡大の防止策を講じつつ社会経済活動のレベルを段階的に上げてはおりますが、当面、極めて厳しい状況が続くと見込まれます。

このような環境の中、当社は「それぞれの新郎新婦にとって最高の結婚式を創る」との企業理念に基づき、当社の強みであるウエディングプランナー一貫制を活かして、新郎新婦と十分な意思疎通を図ることや意向に沿った対応、日程の延期等を希望される新郎新婦の想いを誠実に受け止め、柔軟な対応に努めてまいりました。当事業年度（2020年3月以降）において実施する予定であった挙式披露宴については、大半が翌事業年度以降に延期となっております（提出日現在延期組数934組）。

ハード面においては、一軒家を完全貸切し、施設全体を利用した多彩な演出を実現、自宅にお客さまを招く感覚で挙式・披露宴を挙げることができる仕組みを確立しており、すべての会場を「1チャペル・1パーティ会場・1キッチン」とし、貸切の贅沢感を重視しております。また、結婚式場としては小型店舗のため、用地確保の難しい大都市から、人口が比較的少ない郊外においても出店を可能とし、事業展開をしております。

当第3四半期累計期間における売上高は、オリコン顧客満足度調査「ハウスウエディング部門」総合&全評価項目ともに全国1位の効果及び消費税率引上げ前の駆け込み需要により好調に推移していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、結婚式実施組数は1,890組（前年同期比1.9%増）にとどまりました。

店舗展開につきましては、2020年1月にドレスショップ「ビードレッセ名古屋駅店（愛知県名古屋）」、2020年3月に結婚式場「アコールハープ（千葉県船橋市）」、2020年4月に結婚式場「アトルテラス鴨川（京都府京都市）」をグランドオープンいたしました。当第3四半期累計期間におきましては、これらの出店費用を計上しております。また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を主要因として、既存店舗の一部について、減損損失363,413千円を計上いたしました。さらに、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、繰延税金資産を178,946千円取り崩し、法人税等調整額に計上いたしました。

その結果、当第3四半期累計期間における売上高は7,588,380千円（前年同期比3.7%増）、営業利益9,318千円（前年同期比96.5%減）、経常利益25,271千円（前年同期比91.0%減）、四半期純損失503,774千円（前年同期は四半期純利益169,541千円）となりました。

当社はウエディング事業の単一セグメントであり、セグメントごとの記載をしております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末の資産合計は、12,899,350千円（前事業年度末比2,419,355千円増）となりました。これは主に、新型コロナウイルス感染症の感染拡大とその長期化に対する備えとして、手元資金を厚く保持し、財務基盤の安定性をより一層高めることを目的に、資金の借入を実施した結果、現金及び預金（前事業年度末比1,864,179千円増）が増加したことによるものであります。その他、有形固定資産（前事業年度末比574,186千円増）が増加しております。

(負債)

当第3四半期会計期間末の負債合計は、9,898,050千円（前事業年度末比3,041,580千円増）となりました。これは主に、当事業年度（2020年3月以降）において実施する予定であった挙式披露宴について、大半が翌事業年度以降に延期となった結果、前受金（前事業年度末比922,015千円増）が増加、現金及び預金と同様の理由により、短期借入金（前事業年度末比300,000千円増）、1年内返済予定の長期借入金（前事業年度末比338,209千円増）及び長期借入金（前事業年度末比1,191,865千円増）が増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産合計は、3,001,300千円（前事業年度末比622,224千円減）となりました。これは、四半期純損失の計上等に伴い、利益剰余金（前事業年度末比572,286千円減）が減少したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年7月期通期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大により、いまだ収束時期が不透明であり、適正かつ合理的な業績予想の算定が困難なため、2019年9月12日に公表いたしました業績予想は一旦取り下げ、未定とさせていただきます。今後、業績予想の算定が可能となった段階で改めて公表いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年7月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	796,607	2,660,786
売掛金	28,640	7,314
商品	44,598	60,581
貯蔵品	52,022	51,646
前払費用	75,355	86,033
未収還付法人税等	—	43,534
その他	58,556	20,300
貸倒引当金	△6,111	△49
流動資産合計	1,049,669	2,930,146
固定資産		
有形固定資産		
建物	10,562,425	11,137,324
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,594,174	△4,292,691
建物（純額）	6,968,251	6,844,632
構築物	986,967	1,013,341
減価償却累計額及び減損損失累計額	△505,701	△553,052
構築物（純額）	481,265	460,288
機械及び装置	1,063	1,063
減価償却累計額及び減損損失累計額	△746	△782
機械及び装置（純額）	317	280
車両運搬具	31,063	31,827
減価償却累計額及び減損損失累計額	△25,117	△27,366
車両運搬具（純額）	5,946	4,460
工具、器具及び備品	1,184,646	1,457,171
減価償却累計額及び減損損失累計額	△864,054	△1,020,192
工具、器具及び備品（純額）	320,591	436,978
土地	401,608	1,026,206
建設仮勘定	38,621	17,940
有形固定資産合計	8,216,601	8,790,788
無形固定資産		
のれん	31,755	23,589
ソフトウェア	37,858	39,720
その他	8,958	8,210
無形固定資産合計	78,572	71,520
投資その他の資産		
関係会社株式	48,443	48,443
出資金	30	50
差入保証金	519,721	510,009
長期前払費用	44,260	121,782
繰延税金資産	520,912	424,812
その他	1,783	1,797
投資その他の資産合計	1,135,151	1,106,896
固定資産合計	9,430,325	9,969,204
資産合計	10,479,995	12,899,350

（単位：千円）

	前事業年度 (2019年7月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年4月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	345,563	92,113
短期借入金	—	300,000
1年内返済予定の長期借入金	1,124,526	1,462,735
未払金	338,616	319,793
未払費用	86,942	117,571
未払法人税等	104,700	—
未払消費税等	—	107,024
前受金	331,363	1,253,379
その他	46,385	28,136
流動負債合計	2,378,097	3,680,753
固定負債		
長期借入金	3,862,197	5,054,062
退職給付引当金	76,496	89,393
資産除去債務	359,676	397,496
その他	180,000	676,344
固定負債合計	4,478,371	6,217,296
負債合計	6,856,469	9,898,050
純資産の部		
株主資本		
資本金	534,556	534,556
資本剰余金		
資本準備金	514,556	514,556
その他資本剰余金		
自己株式処分差益	60,705	60,705
資本剰余金合計	575,261	575,261
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	2,513,708	1,941,422
利益剰余金合計	2,513,708	1,941,422
自己株式	—	△49,938
株主資本合計	3,623,525	3,001,300
純資産合計	3,623,525	3,001,300
負債純資産合計	10,479,995	12,899,350

（2）四半期損益計算書
（第3四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期累計期間 （自 2018年8月1日 至 2019年4月30日）	当第3四半期累計期間 （自 2019年8月1日 至 2020年4月30日）
売上高	7,318,589	7,588,380
売上原価		
商品期首たな卸高	47,511	44,598
当期商品仕入高	2,773,041	2,765,637
合計	2,820,552	2,810,235
他勘定振替高	29,999	33,407
商品期末たな卸高	57,602	60,581
商品売上原価	2,732,949	2,716,247
売上総利益	4,585,639	4,872,132
販売費及び一般管理費	4,320,682	4,862,813
営業利益	264,957	9,318
営業外収益		
受取利息	14	13
受取賃貸料	25,315	31,816
その他	8,155	4,043
営業外収益合計	33,484	35,873
営業外費用		
社債利息	7	—
支払利息	16,809	17,291
その他	349	2,629
営業外費用合計	17,167	19,921
経常利益	281,274	25,271
特別損失		
固定資産除却損	769	4,844
減損損失	—	363,413
特別損失合計	769	368,257
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失（△）	280,505	△342,985
法人税、住民税及び事業税	145,214	64,689
法人税等調整額	△34,250	96,099
法人税等合計	110,963	160,789
四半期純利益又は四半期純損失（△）	169,541	△503,774

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

新型コロナウイルス感染症（以下、本感染症）拡大による影響を受けて、当社では厳重な対策を講じた上で事業活動を継続しておりますが、政府より発令された緊急事態宣言に伴う、各自治体の不要不急の外出自粛要請の影響により、既存店舗における稼働率低下による売上高の減少等、当事業年度及び翌事業年度の当社業績への影響が見込まれております。また、本感染症拡大の収束時期や影響の程度を正確に予測することは困難であり、不確実性が高い事象であると考えております。

当社の業績に与える本感染症の影響については、2020年7月頃まで継続し、2020年8月以降は緩やかに回復し、2020年秋頃には収束に向かうものと想定しております。また、2020年3月以降に予定されていた挙式披露宴のうち、一定数が延期していることにより、現時点においては、例年と比較して翌年度の受注高が積み上がっております。

当社は、当第3四半期会計期間において上記の仮定に基づいて、固定資産の減損、繰延税金資産の回収可能性に関する会計上の見積りを行っております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

当社は、ウエディング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。